

令和4年度第4回石狩市地域公共交通活性化協議会 議事録

日時 令和4年10月28日（金）10時00分～11時00分

場所 石狩市役所4階 401・402会議室

出席者 小鷹雅晴会長、岸邦宏副会長、田村奈緒美委員、木村直樹委員、竹内努委員、桑山渉委員、高眞一委員、池田篤司委員、經亀真利委員、児玉成治委員、岩佐英世委員、柴田肇委員、岡田勝博委員、佐藤雅治委員、小山玲子委員、早川真樹委員

事務局 企画課交通担当課長 上窪健一、企画課交通担当主査 江島紀和
中央コンサルタンツ株式会社 大嶋課長 堀主任

傍聴者 なし

次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 令和5年度石狩市地域公共交通計画について
 - (2) オンデマンド交通による実証運行について
3. その他
4. 閉会

===== 審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等） =====

※ 以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会
2. 議題

(1) 令和5年度石狩市地域公共交通計画について（※事務局より説明）

●石狩市地域公共交通網形成計画に基づく施策の進行状況<資料2>

【質疑・意見】

○石狩湾新港地域の交通結節点とはどういうものなのか。

●現在、広い新港地域において、目的地へのラストマイルが必要と考えている。待合場所等から、目的地へ行くことができるもの。交通だけではなく、交流拠点としても考えている。再生可能エネルギーとも連動したい。しかしながら現在、具体的な構想まではお示しできないことをご理解いただきたい。

○モビリティマネジメントの観点から考えると、高校生の利用が多く、バスの利用運賃にも寄与しており、今回もバスロケ等の普及を高校生を対象に行っているが、もっと前の小中学生の時からバスロケ等の普及をした方が良いのではないかと。新しい公共交通の計画ではそういったことも検討して欲しい。

令和4年度第4回石狩市地域公共交通活性化協議会（R4.10.28）

●高校生はすぐにでもバスを利用する環境にあるため、高校生に対してバスロケ等の普及を行ったところ。札幌市などでは、小学校の授業で公共交通の利用の仕方について教えている状況であることも認識しており、今後、小中学生への拡大も意識していきたい。

○公共交通について、具体的な担い手確保の取り組みは何かできないものか。自衛隊の退職者は大型免許をもっていることがあったり、建設業者も大型免許を持っていることがあると思う。

●本市で行っている多業種に渡る就職説明会があり、担当課に対し、交通事業者の参加を依頼しているところ。今後においても、少しでも乗務員が増えるような施策を打ってまいりたい。

○公共交通結節点は、待合環境などのハード面での整備であるとか、乗り継ぎの拠点であるとか、そういった具体的な内容を次回の公共交通計画では盛り込めたら良いと思う。

●次回の計画策定時に是非議論させていただきたい。

○浜益区のデマンドをもっと使い勝手の良いものにできないか。

●浜益区のデマンドについては、使い勝手の良いものになるよう、浜益区の皆様のご意見も聞かせていただきながら、持続可能な形で進めてまいりたい。

(2) オンデマンド交通による実証運行について（※事務局より説明）

●オンデマンド交通による実証運行について<資料3>

【質疑・意見】

○通勤オンデマンドについて、18社協議して5社の参加という結果であり、参加企業が少なく感じるが増える可能性はあるのか。

●石狩湾新港企業は700社を超える企業数であり、その組織を束ねる団地連絡協議会を通じてご案内し、その中で18社と協議を開始しているところ。実証運行で検証するため、これからさらに参加企業を増やしていきたい。

○この結果であれば、石狩湾新港地域が本当に公共交通を必要としているのか。自分達

の送迎で足りているということかもしれない。利用する側の関心がないのであれば、交通サービスを提供しても意味がないのではないか。

●石狩湾新港企業は様々な業態があり、今回の実証運行の形がベストであるとは考えていない。今後、実証運行の結果を検証していきながら、より良い形を検討してまいりたい。

○今回のサービスレベルで参加してくれた5社の意見を丁寧に聞き取り、何があれば満足できるのか等を確認し、今後に生かしていくべきと思う。参加者が多かったから実証運行成功という考え方ではなく、何が便利になったのかであるとか、本質的な内容を知ることが大事であると思う。

●石狩湾新港地域については、ニーズや可能性はあるものの、様々なオペレーションの観点から難しい点はある。しかし、その中でも採算ベースの観点からもしっかりと見定め、これからの実装について検討していきたいと考えている。

○冬季期間の運転はどのようにかんがえているのか。

●豪雪の時などは決して無理はしない方針。サービス提供会社及び交通事業者とも連絡を取り合える体制となっている。また、途中で吹雪になった場合でも、道路管理者と連携して安全に運行できるよう、配慮をしてまいりたい。

3. その他

●「仮称石狩市地域公共交通計画」について。現在の石狩市地域交通網形成計画は5年間の計画であるが、今年で4年目、来年で5年目を迎える。再来年は石狩市地域公共交通計画への移行が法律でも求められている。利便性、採算性、公共性を確保しつつ地域公共交通計画を本協議会で議論しながら考えていきたい。

4. 閉会

令和4年11月4日 議事録確定

石狩市地域公共交通活性化協議会

会長

